

## ガバナー公式訪問 クラブ協議会

山本ガバナー、中嶋会長・萩原幹事との会長幹事懇談会終了後、北川会場監督の先導で、山本ガバナー、葎本ガバナー補佐、大田地区幹事が入場着席で開会いたしました。

ガバナー挨拶、会長の歓迎のことば、引き続き北クラブ今年度活動計画について、発表説明があり、会長方針、会務方針、各部門委員会、役員理事より順次各々の計画、抱負発表がありました。

内容や詳細につきましては、活動計画書をご参照ください。

講評を葎本 A G より頂きました。

皆様こんにちは、素晴らしい協議会ご苦労様です。私のベイ R C は北クラブ西クラブさんがスポンサーであり、いつも支えて頂きありがとうございます。

14年間北 R C に在籍してましたので、実家に帰ってきた様な気分です。

中嶋会長は、去年は地区幹事、今年はクラブ会長として、その個性を発揮することを期待します。素晴らしい事は「 I D スポーツ大会」の開催であり、私も三つの障害者施設の理事長をやっており、どの程度のハンディをもつ人達かは分かりませんが、その関係の知識や組織を知っておりますので、ご相談があればご協力いたします。

ポリオ撲滅については、色々なご意見はありますが、私もポリオ年代で流行っており、周りに小児マヒの方が沢山おられて、これが日本から無くなったという事は、すごい事だと思いますし、世界から無くなる事は全くすごいロータリーの事業だと思います。

今年は各クラブで分区の事業をやって頂きますが、北クラブには D D F の 32 万円を利用して事業を実施して欲しいとお願いしております。去年はアースの上映を行いました、形に残る様なものを考えて欲しいとお願いしております。

会務方針について、私達もそうですが節約に節約を重ねて、幹事さんは苦労しますが、宜しくお願い致します。

親睦家族委員会ですが、親睦の北クラブと言われ、私の居た時から昼の例会、夜の宴会と楽しく過ごさせて頂きました、今年も楽しく過ごして下さい。

プログラム委員会は、全く言う事はありますが、なるべく新入会員の卓話を早くして、肩の荷を降ろさせて頂ければと思います。

出席資料管理委員会は、他クラブへの集団メーキャップをやる事で、訪問クラブの良さを学び、自クラブの良さを確認出来ますので、お勧めいたします。

会員維持増強委員会は、これ位の会員が居れば良いと思います。どのクラブもひと通りこぼして始まりますが、問題ありません。

社会奉仕委員会は、やるのは簡単で維持するのが難しい。私も最初「中学生バレーボール大会」をやりにして、経費の問題などで4、5年で止めました。是非頑張ってください。

職業奉仕委員会の就職指導講演会は、私が入会前からの事業で当初は星園高校でやっており、今は商業高校とのことですが、この事業は大変な事業でありますので、是非ロータリーの友に投稿して、全国へ知らせるべき事業ではないかと思っております。

国際奉仕委員会は、今年の G S E は第7分区分が韓国との青少年短期交流事業を受けたことと手を離れております、W C S は4年前タイ国とのマッチンググラントを行い、バンコックの6つの

小学校に簡易水浄化装置を配置し、行って全部確認してきました。

私も子供たちに綺麗な水を飲ませたい思いであり、数回PRに行っております。

今度は3330地区に足立PDGと行きまして、MGを組みたいと思っております。

浄水器は一日500リットル出来るのです。2割の子供が水に関する病気で死んでおります。貴重な飲み水として大事に大事に使っております。小屋や排水設備は現地ロータリアンが造っております。大変喜んでおり、我々が行くとタイと日本の国旗を振って歓迎してくれる所であります。

国際青少年交換に関しては、釧路RCのホストで8月に来ます。今回集めた分区の負担金と残っていたお金を足して釧路RCに渡す事を、会長幹事会で決めました。

新世代委員会は、私が入会して間もなく生意気に、坂本ガバナーに北クラブの奉仕事業で一番は何ですかと質問しましたら、ローターアクトクラブを持っている事が最大の奉仕だとおっしゃっておられました。RACを維持していく困難さはありますが、私も地区委員長をやった経験から、本当にいい奉仕だと思えます。

財団は、リーマン・ショックで資金が窮屈になり、MGは制限され7月1日で申し込みは締め切られました。我々の浄水器のお金は、地区のDDFを利用してやろうと思えます。

アカデミー部門は聞きなれないのですが、中身はR情報、研修、広報委員会のことで、情報に明るい田村委員長と色々調整しながら、新入会員研修をして頂いてロータリアンを育てて欲しいと存じます。

今は、どこのクラブに行っても会報はありません。ウェブとの事であります。

昔の会報は一字一句まで書いていましたので大変でした、経験者はご存知の通りです。

それが原因で退会した人もおります。簡単にする方法は原稿を出して頂くことです。

以上、講評と致します。



## ガバナー総評 山本信男ガバナー

葎本AGの素晴らしい講評を聞いていて、あっけにとられました。

このクラブが一番格式が高いと思ってきたのですが、和やかな雰囲気です。

各クラブを回って地域差があるのは事実ですが、クラブの個性を非常に感じます。

私など、旭川の自クラブの事も28, 9年になりますが、最近この様な立場になってようやくロータリーはこういう事だと分る様になりましたが、反面分らなくなってきた事もあります。悪口ではないのですが、あるクラブでは手続要覧を片手に待ち構えている会員がおり、相当飛躍した質問をするので困惑してしまいます。

この所、サイバークラブといわれるクラブがあると、どこで実行しているのか私には分かりません。

例会を隔週だとか、インターネットとかファックスとかで体裁を整えるなど。

ロータリー定款には、例会は週1回開催すると書いてあります。

そこで、地区内でも2週に1回にしたいというクラブが3クラブあります。

今年ガバナーの立場として、それを奨励する事は出来ないで、何とか週1でお願いしたいとっております。としても、今後RI事務局にクラブの希望が認められるかどうか、尋ねたいと考えております。

また、経費の節減についてはRIの負担金の軽減を私から言う事は出来ませんが、節約しようという意は沢山のクラブで働いております、食事を食べた人が食事代を払うなど、節約節約で食費を削って最後にはてんや物になってしまうのは、ロータリーにとってどうなのか、また考えてまいります。

ロータリーは親睦があって、職業奉仕があって、仕事があって、繁栄がって、商売が儲かる事だけが皆さんの目標、ロータリーの目標だったのです。

いつの間にか、ボランティアの方にばかり頭や目がいって、外向きの事を一生懸命やる人ばかりが評価を受けて、決して望ましい形ではないと思います。

内輪の事を良く考えて、中味内部をしっかりと吟味し、精査し、良く考えて行動のパターンを決めて頂くと思います。

会員数が減ってパイが小さくなっている時、パイの大きい景気の良かった時と同じ事をする事は、無理に無理が重なって、大きな不満となってどこかで爆発する危険を抱えております。13年間会員が減り続け、いつ歯止めがかかるのか、底を打って回復基調に入っていくのか、先行きはまだまだ不透明で厳しいところであります。

以上で、取り留めのない挨拶であります、終わりと致します。



## ロータリーミニ情報 高橋邦弘会員

私達ロータリアンへの「目的、指針」として、ロータリーの綱領と標語、四つのテストなどがあります。中でも綱領は組織にとって大変重要であり、「ロータリーは何か」という問いに対する答えとして作られましたが、綱領はロータリー100年の歴史の中で、時代と時代背景の変化に伴い何度か修整されて現在の文言になっております。

しかし、四つのテストは、ロータリーの為に作られたものではありません。

1932年シカゴRC会員の、ハーバードJ・テイラー氏が、倒産の危機に瀕していたクラブ・アルミ社ノ社長を任されたときに、社員に対して「どんな状況であっても、正しい事をするよう納得させる事が出来れば、競合相手に負ける事は無い」との思いから作った職業倫理訓です。そして会社は倫理訓の実践により、5年後黒字に転じたのです。

1943年国際ロータリーは四つのテストを採用しました。その後、1954年テイラー氏がRI会長に就任した時に、四つのテストの著作権を国際ロータリーに譲渡されたのです。

## ガバナー公式訪問例会 講話 山本信男ガバナー

昨日まで真面目にロータリーの話をしてきたのですが、ここに来て気が抜けたのか、北クラブでは釈迦に説法でありますので、自分の仕事の話を中心に進めてまいります。

今マスク屋と言われておりますが、何でマスク屋になったのかから話しますと、木材屋だった家業が傾き、苦学をして大学を出て、紡績会社仕上工場に勤めましたが、めん羊が居なくなり仕事にならなくなりました。

木材屋で身を立てようと、国策パルプへ入社して木材部へ配属され、造材現場を希望し山頭として80名の作業員を引率し、山にこもりました、27.8才の時でした。

嵐倒木処理が終わり、仕事量が減少して造材屋が7.8軒潰れなど木材屋で独立する夢も消えました。事業をしている間は相当の儲けがあったのですが、仕事を失ってゼロになってしまいました。

その後、どうするか考えていたら組合の執行委員長にされ、3年間労働組合活動をしておりました。当時の労組は嫌われておりましたが、労務者が路頭に迷う事になるので、それを救いたいという気持ちもありました。

炭鉱は政府の労務者保護はあったのですが、木材の倒産に関しては政府の保護はなかった、保護取り付けの為に政府と激しい交渉をした経緯があります、その後連合会後援会長をやったのですが、これではどうしようもないから、将来どうするかを考えておりました。

政治家にならないかという話もあったのですが、何かで商売を独立しなければならないと思っている当時、お産ブームでありました。

お産用ナプキンセットを開発すれば売れると思い、開発を続け東京の白十字の社長に面談を求めて、こういうアイデアで仕事をしたいと直訴したら、興味を持って頂き協力を約束してくれました。海のものとも山のものとも分らないお産用セットの製造と販売の許可を取り付け、北海道の販売権を頂きました。

最初は札幌の病院を中心に営業し、釧路にもお産用ナプキンセットを担いで来るようになりました。産婦人科病院の全てに営業し販売できました、当時の釧路はキャバレーがあり割烹がありまして、今とは比べものにはならない賑わいであったと記憶しております。

私が、手術用のマスクを開発するキッカケは、お産用ナプキンセットを売って半年位でシェアの60%をとり、3年経ってもう売るところが無くなった為、資金もそこそこ貯まっていたので、この先どうするかと思い、アメリカへ産業視察に行った事でした。

ニューヨーク郊外のジョンソン&ジョンソンという会社でマスクを見せられました。まだアメリカでも販売されておりましたが、その部長は将来売れるというので調べたところ、月にアポロを打ち

上げた時の限られた酸素を循環させるのに、汚染させてはいけないのでフィルターが入っている、そのマスクが民間に払い下げられたものでした。

病院では手術時に使用するの、切開や注射のときなど炎症したら大変であります。

我々のマスクは外からの汚染じゃなく、内から出さない、うつさない様にする事が大事と考えておりますので、外からの感染予防効果は薄いのではないかと考えております。

33, 4歳のときマスク開発に取り組み、原料はアメリカからコンテナで輸入して、機械は誰も造ってくれませんでしたので、自分で造ろうとはじめました、儲かったお金を全部つぎ込んで3年位かかってようやく物になりました。

その話を聞いて、大阪の武田製薬が6名で尋ねてきました、これを売らせろと言われ提携し、色々な開発を手がけながら、武田製薬と取引している会社という事で、めちゃくちゃ信用され、仕入れも世界中からスムーズに出来るようになりました。

同時に特許のもっている会社に強引に製造を迫って、交渉しながら下請けに回ったり、会社の分社化を求められ、同じ釜の飯を食べていた兄弟のように仲のよかった社長とも、今は敵味方にわかれやっております。これも医療の発展の為に甘んじて競っています。

公式訪問のなかで仕事の話をする事は本当はまずいと思いますが、会社では息子に社長を譲って、今は会長ですのでご理解下さい。

失敗したと思うことは、ガバナーを引き受けた事です、ガバナーの仕事はきつ過ぎます。

ロータリーの価値観で悩みます、多少でも皆さんに貢献できる、皆さんが繁栄する何かが無くてはならないと、ロータリーの中で政治の話、宗教の話はいけない、イデオロギーの話はいけないのは分るのだけど、皆さんは色々な仕事のノウハウを持っているし、体験も持っています、仕事の事を相談しながら地域的に何かを生み出す事をしなければ、ロータリーの存在意味が薄れてくるのではないのでしょうか。

昔は90年の間一業種一人が続いていたのですが、その間取引が中止になった事はないです、それを取引をしてはいけないと誰が言い出したのか分らないけど、確かにその様に書かれている所があります。友情を利用して商売をしているのではありません。

他人から買うのは良いが、友情を利用して商売はいけないというロータリーの理論はとんでもない間違いだとおもいます。それは自殺行為に等しく、もったいなさ過ぎます。

繁栄とは、相手が先に繁栄して自分に返ってくる、種をまいて自分が刈り取る、これが「超私の奉仕」です。

自分を犠牲にして、人に尽くしなさいと言っているのではない、良く奉仕した者が良く報われるロータリーでの友情関係を、仕事に生かす様にされた方が良いのではないのでしょうか。